森林病害虫等被害対策事業

【令和４年度予算概算決定額　714,204（696,461）千円】

＜対策のポイント＞

森林病害虫等による被害の抑制に向け、**ドローンを活用した効果的な被害対策の実施・検証**を行うとともに、引き続き、**東北地方等において**、農林水産大臣の命令による**防除対策等を推進**します。

＜事業目標＞

保全すべき松林の被害率を全国的に１％未満の「微害」に抑制［令和７年度まで］

＜事業の内容＞

１．森林害虫駆除事業委託　188,330（183,737）千円

○　**東北地方等における松くい虫**被害の拡大の防止、佐渡におけるトキの営巣木等の保全を図るため、**農林水産大臣の駆除命令による伐倒駆除等を実施**します。

２．森林病害虫等防除損失補償金　1,975（1,970）千円

○　農林水産大臣の命令を受けて伐倒を行うことにより**通常生ずべき損失額及び薬剤による防除等を行うのに通常要すべき費用等を補償**します。

３．森林病害虫等防除事業費補助金　506,724（493,238）千円

①　従来被害の無かった地域で新たな被害が発生している**高緯度・高標高地域等における松くい虫防除対策の取組を支援**します。

②　薬剤の樹幹注入による予防措置等、**環境に配慮した松林保全対策の取組を支援**します。

③　**せん孔虫類、食葉性害虫、のねずみ等による被害のまん延を防止するための防除対策**及び**ナラ枯れ被害対策の防除措置の取組を支援**します。

４．森林病害虫等被害対策強化・促進事業　17,175（17,516）千円

①　被害先端地の被害木の見逃しを防止し、駆除を徹底するため、複数の波長帯を観測できるカメラを備えた**ドローンを用いて松くい虫被害木の把握・判定**を実施し、ドローンによる被害木探査マニュアルの作成に向けた取組を支援します。

②　薬剤散布の効果を高めるためのきめ細かな散布技術の確立に向け、**ドローンを用いた散布方法の実証**、地上散布との**コストの比較検証等**を実施し、ドローンによる薬剤散布に係るガイドラインの策定に向けた取組を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（委託、1/2等）→ 都道府県（１、３の事業）

国 →（1/2等）→ 都道府県 →（1/2等）→ 市町村等（２、３の事業）

国 →（定額）→ 民間団体等（４の事業）

＜事業イメージ＞

予防

・薬剤散布（地上・空中散布）はマツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリ成虫を直接殺虫するとともに、薬剤が染込んだマツの枝をかじった成虫も殺虫します。

・マツ樹体内に侵入するマツノザイセンチュウが増殖できないように薬剤を樹幹に注入します。

薬剤の地上散布

薬剤のヘリ空中散布

薬剤の樹幹注入

駆除

・被害木を伐倒し、くん蒸・破砕・焼却等によって、被害木に生息しているマツノマダラカミキリ幼虫が成虫になって脱出する前に駆除します。

くん蒸処理

破砕処理

焼却処理

効果的な被害防止対策に活用

ドローンを活用し、①上空からの被害木探査、②保全松林等における薬剤散布の効果を高めるための散布方法の検証を行います。

空中探査

薬剤散布

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-3502-1063）